

2016年6月14日

経済団体記者会・農林水産省各記者クラブ 各位

公益社団法人 日本農業法人協会  
一般社団法人 日本経済団体連合会

経済界と農業界の連携体制の構築－新たなプロジェクトの創出に向けて－  
日本農業法人協会第33回総会・関係会合のご案内

名目GDP600兆円の実現に向けて、攻めの農林水産業の展開が重要であり、経済界と農業界の連携が不可欠です。

日本農業法人協会と経団連は、経団連が立ち上げた「経済界と農業界の連携プラットフォーム」における協力・連携等を通じて、生産性向上、需要拡大等、農業の更なる成長産業化を目指します。

その第1弾として、日本農業法人協会の総会の機会を捉え、農業界に経済界の技術・ノウハウを紹介し、マッチングを促進するためのプレゼンテーション会および展示会（6月17日の第3分科会およびアグリサポート倶楽部交流会）を開催します。

日本農業法人協会と経団連の本格的なマッチングは、初の試みとなります。農業界と経済界の有する技術・サービス・情報が融合することで、新たな農業の可能性を切り拓くことが期待されます。

総会・夏季セミナーともに報道機関へ公開いたします（第1・2分科会は除きます）。取材を希望される方は、会場まで直接お越しください。事前申し込みは不要ですが、16日は受付にお立ち寄りください。ただし、会場の都合により、一部取材制限を設けさせていただきますので予めご了解ください。

1. 日時 平成28年6月16日（木）13:00～17:30  
平成28年6月17日（金）9:00～12:30
2. 場所 TKPガーデンシティ竹橋  
東京都千代田区一ツ橋1-2-2（電話：03-5220-2630）
3. 添付資料：（1）プログラム  
（2）「経済界と農業界の連携プラットフォーム」概要資料
4. 主催：日本農業法人協会  
協力：日本経済団体連合会（6月17日の関係会合のみ）
5. 取材ご案内先：経済団体記者会、農政クラブ・農林記者会
6. 取材要領：全席自由（関係者席を除く）、エリア制限なし  
ただし、17日分科会は第3分科会のみ

【本件問合せ先】

日本農業法人協会 tel:03-6268-9500（担当：岸本）

経団連産業政策本部 tel:03-6741-0836（担当：森島）

以上

日本農業法人協会第33回総会・夏季セミナープログラム  
(プレゼンテーション会および展示会はゴシック)

【6月16日(木)】

13:00～15:00 第33回総会(2階大ホール)

「農業の成長産業化に向けたプロ農業者からの提言」を公表します。なお、当日は森山農林水産大臣(予定)に政策提言を手交する予定です。

15:20～16:20 トップセミナー(2階大ホール)

講演:「食料・農業・農村基本計画～食料安全保障と自給率目標について～(仮)」

講師:東京大学 中嶋 康博 教授(食料・農業・農村政策審議会 企画部会長)

16:20～17:10 アグリマネジメント講演会(2階大ホール)

講演:「知っておきたい個人情報の基礎知識(仮)」

講師:大手町綜合法律事務所 高丸 涼太 弁護士

17:10～17:15 情報提供:経団連「連携プラットフォーム」概要紹介(2階大ホール)

説明者:日本経済団体連合会 根本 勝則 常務理事

17:15～17:20 情報提供:農林水産省施策紹介(2階大ホール)

説明者:農林水産省

【6月17日(金)】

9:00～10:30 分科会

《第1分科会》 政策等に関する意見交換会(2階 カンファレンス2A **非公開**)

《第2分科会》 リスクマネジメントセミナー(10階 カンファレンス10B **非公開**)

《第3分科会》 農業界と経済界の連携 事例報告会(10階 ホール10B)

経団連における農業の競争力強化・成長産業化に向けた「経済界と農業界の連携プラットフォーム」活動の一環として、経済界と農業界の連携促進を図るため、経済界のシーズについて5社から事例報告します。

- ①凸版印刷「ブランディング」、②ネポン「施設園芸向けICT」、
- ③日立ソリューションズ東日本「経営力強化(ICT教育)」、
- ④オリックス「生産販売に関する共同事業について」、⑤日本通運「輸出物流」

10:30～12:30 アグリサポート倶楽部交流会(10階 ホール10E)

農業法人経営者が一同に集う機会に合わせ、アグリサポート倶楽部会員企業が出展する展示会形式により、農業経営に資する様々な情報やシステム・商品をご提案いただき、交流会を開催いたします。

今回は日本経済団体連合会の協力を得て、出展枠が一部拡大しています。

以上

# 経済界と農業界の「連携プラットフォーム」

農業の現場ニーズへのソリューションを提供し、成長産業化

## 経済界

経団連  
地方経済団体等

シーズの  
提供

### 【具体例】

1. 経営改善システムの導入
2. 販路・輸出拡大
3. 加工品の共同開発、付加価値の向上(6次産業化)
4. ICTによる栽培環境・生育状況の見える化
5. ニーズに応じた資材の提供、等

## 農業界

日本農業法人協会  
JAグループ 等

ニーズの  
吸い上げ

### 【具体例】

1. 経営力の強化
2. 生産性・効率性の向上
3. 加工品における国産の活用拡大
4. 物流の効率化
5. 建設・エネルギー・資材コストの低減、等

連携

プラットフォーム

- シーズ・ニーズのマッチング
- 連携事例の横展開
- 事例集取りまとめ
- 経営人材の強化、等